

## 医学部保健学科の教育理念を実現する方針

### I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### (1) 育成する人材像（教育目標）

保健学科では、知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心を有する人を育てます。また、科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな想像力・独創性と使命感を持って保健医療を推進する人を育成します。

#### (2) 卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

教育目標と基準に沿った資質・能力を満たした者に卒業を認め、学士の学位を授けます。卒業には、全学教育科目を 33 単位以上（全専攻共通）に加え全専攻とも卒業研究（4 単位）を含み、看護学専攻 91 単位、放射線技術科学専攻 94 単位、検査技術科学専攻 91 単位、理学療法学専攻 91 単位、作業療法学専攻 93 単位以上の専門系科目を修得する必要があります。

### II. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

保健学科は「科学的論理性と倫理性・人間性に富み豊かな想像力・独創性と使命感をもって保健医療を推進する人の育成」を学部教育の基本方針としています。将来の保健医療を担うリーダーとなりうる人材の育成をめざし、看護学・放射線技術科学・検査技術科学・理学療法学・作業療法学の 5 専攻を設けています。医学部の教育目標を達成するために、以下のような教育課程を用意しています。(1) 1 年次には、主として全学教育科目と専門（基礎）科目の一部を学びます。全学共通科目では、幅広い学問体系の知識を獲得し、総合的な分析・把握力・論理性に裏付けされた基礎的な主体性や探究心を、また豊かな人間性を育みます。また、専門基礎科目として、解剖学・生理学や生命倫理学などの 5 専攻共通基礎科目を通して専門技術に不可欠な保健医療の幅広い知識を習得し、科学的論理性や主体的な創造性の基礎を育成します。(2) 2 年次以降は、各専門の段階的な講義・演習・実習の教育カリキュラムを設け、各領域の専門科目で高度な専門知識や技能の取得に加え、幅広い視野と高い倫理性を身につけます。(3) 3 年次および 4 年次には、医療福祉機関や地域において臨地・臨床実習を行い、これまで習得した知識の実践的活用方法および保健医療の実際を学びます。また、使命感をもつ保健医療人との関わりから、保健医療への使命感や立ち向かう探究心を育成します。あわせて、各研究室に配属のうえで卒業研究に取り組み、科学的論理性や独創性、豊かな想像力による問題発見・解決能力を身につけます。